

令和4年度

事業計画書

公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団

目 次

1	事業運営の基本方針	1
2	事業の概要	2
	スポーツ部門	4
	音楽部門	8
	演劇部門	12
	美術部門	15
	文芸部門	17
	その他芸術文化部門	21
	生涯学習部門	22
	広報宣伝・友の会部門	25
	施設管理事業	26
3	組織図	27

事業運営の基本方針

1 スポーツ事業

- (1) 誰もが身近にスポーツを楽しめるように、スポーツ教室、施設提供等を通じて、市民一人ひとりが目的や目標を持ってライフステージに応じた多様なスポーツ活動に親しむことができる機会の充実を図ります。
- (2) スポーツ情報の発信を充実するとともに、様々なスポーツ活動を支える指導者やボランティアの人財育成とその支援に努め、市民の活躍の場を創出します。
- (3) 市民の健康保持や健康増進、介護予防等のため、スポーツを取り入れた健康づくり事業を実施します。
- (4) スポーツ団体、事業者等との連携・協力により、市民満足度の向上と市民の利用促進につながる事業を展開します。
- (5) 三鷹市と連携しながら、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを生かす取組を実施します。

2 芸術文化事業

- (1) 地域や施設の特性を踏まえたオリジナリティのある公演事業や展示事業を企画し、市民の皆様に国内外の優れた芸術文化に親しみ、鑑賞する機会を提供します。
- (2) 市民の自主的な芸術文化活動の場として施設を提供し、その活動を支援するとともに、親しみを持って施設を利用していただけるよう、適正な施設運営に努めます。
- (3) 市民が安全・安心・快適に芸術文化施設を利用することができるよう、施設・設備の予防的な保全に努めるため、計画的な点検と改修を実施します。
- (4) 次代を担う子どもたちに芸術文化の楽しさや素晴らしさを体験する機会を提供することにより、児童・青少年の健全育成に取り組むとともに、学校との連携を図りながら積極的に教育普及事業を実施します。
- (5) 三鷹ゆかりの作家や作品の顕彰事業を推進するとともに、財団が管理する文化施設を適正に維持管理し、公開しながら「文化のまち・三鷹」を発信します。

3 生涯学習事業

- (1) 市民一人ひとりのライフスタイルやライフステージに沿った学習機会を提供するとともに、生涯学習情報を提供し、学習に関する相談体制の充実を図ります。
- (2) 多様化・高度化する市民ニーズに対応した講座を開催し、市民満足度の向上を目指します。
- (3) 市民の主体的な生涯学習活動を支援するとともに、障がい者、子育て中の市民など学習困難な方々への学習機会を支援します。
- (4) 三鷹市芸術文化協会、事業者等との連携を図りながら多彩な生涯学習事業を展開します。
- (5) 生涯学習ボランティア等の人財を育成するとともに、市民が学習成果を地域に還元することができる活動の場を創出します。

事業の概要

いまだ新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況下において、各施設ともしっかりと感染症対策を講じながら施設運営及び事業実施を進めていきます。また、スポーツ、芸術文化及び生涯学習の各分野においては、「with コロナ」への取組を交えつつ、市民生活に活力を与えられるような魅力ある事業を実施していきます。

スポーツ部門では、市民のニーズを的確にとらえ、誰もが気軽に参加できるような事業を実施し、「人生100年時代」において、生涯にわたり元気で健やかなスポーツライフを過ごせるよう支援していきます。バドミントン、卓球等の種目別の個人開放事業や働き世代、子育て世代、高齢世代、次世代を担う子どもなど各世代のライフステージとライフスタイルに応じた様々なスポーツ教室事業を実施します。また、市民の健康の保持増進、介護予防等のために、専門的な知識・経験を持ったスタッフにより一人ひとりに合った運動プログラムを提供する健康・体力相談事業を実施します。三鷹市体育協会、地域スポーツクラブ等との連携事業や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを生かす取組として、スポーツイベントや障がい者スポーツ教室などの事業を実施します。

芸術文化の各部門では、各文化施設においてオリジナリティのある事業を展開することにより、「文化の薫り高い三鷹」を目指して芸術文化の振興に努めていきます。

音楽部門では、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニアをはじめ、今後の活躍が期待される国内外の演奏家や世界トップクラスの演奏団体の公演を開催します。昨年度に引き続き和楽器の音楽に注目するほか、充実した国内アーティストの公演ラインアップを予定しています。みたかジュニア・オーケストラは、引き続き演奏技術の向上と活動の充実を図るとともに、団員募集に力を入れてまいります。市内公立小学校全校への訪問演奏（三鷹市教育委員会からの受託事業）、夏のファミリーコンサートに加え、未就学の子どもと家族を対象とした本格的な演奏会と体験講座を組み合わせた企画を実施し、幼い頃から音楽に親しめる環境作りに努めます。

演劇部門では、若手劇団の登竜門として定着しつつあるMITAKA “Next” Selectionをはじめ、今後の活躍が期待される劇団による、三鷹だけでしか観られないフレッシュな演劇企画を実施します。また、三鷹市ゆかりの作家太宰治を偲び太宰治朗読会も開催します。映画事業は、洋画の名作を上映する企画「洋画世界紀行（仮称）」を上映します。さらに、親しみやすい伝統芸能として多くの集客を得ている落語公演・狂言公演では、人気も実力も兼ね備えた落語家・狂言師による公演を開催します。

美術部門では、3回目となる「収蔵作品展Ⅲ」、1970年代アングラ演劇をはじめ多方面で活躍した作家の全貌を多面的に紹介する「合田佐和子展」の2展示事業を実施します。異なったジャンルの展示により来場者層を広げるとともに、三鷹市教育委員会やNPO団体との連携を図り、教育普及事業の展開を探ります。

文芸部門では、三鷹市山本有三記念館においては、企画展を2回開催するほか、子ども向けの「おはなし会」やワークショップを開催するとともに、館内で音楽を鑑賞する「アフタヌーン・ミニコンサート」や「三鷹市山本有三記念館スケッチコンテスト」を開催します。太宰治文学サロンでは、ブックカフェの機能を持たせ、来館者がコーヒー等を飲みながら「山内祥史文庫」を読むことができるスペースを提供するほか、太宰治作品朗読会を毎月開催します。さらに、太宰治展示室「三鷹の此の小さい家」では、企画展示を2回開催するほか、太宰治の新たな魅力を発掘する読書感想会を開催します。太宰治文学サロンと太宰治展示室の回遊性を高めることで、「太宰が生きたまち三鷹」の発信力を強化します。また、三鷹市が計画している吉村昭の書斎整備事業に関して、引き続き専門的な観点から助言等を行っていきます。みたか井心亭では、茶道体験教室に加えて新たに華道体験教室を開催し、日本の伝統文化を体験できる機会を提供するとともに、施設の活用に努めます。

生涯学習部門では、年間を通じて実施する市民大学事業をはじめ、人財養成講座、趣味・教養講座、小・中学生向けの体験講座など、社会情勢や市民の声を踏まえた事業を実施し、多くの市民に学習の機会を提供します。特に小・中学生向けに実施している三鷹市芸術文化協会との連携講座については、芸術文化活動を行う市民との交流と次世代の育成のため、拡充を図ります。さらに、オンラインによる講座やイベントが急速に普及していることを受け、引き続き Zoom の初心者向け講座を行うほか、オンライン講座が主催できるよう技術習得を図る中級者向けの講座も実施します。そのほか、夏休み期間及び毎週日曜日に、学習室の一部を学習スペースとして開放する学習スペース開放事業、生涯学習センターを利用する個人や自主グループが中心となって企画する生涯学習センターフェスティバル、個人やグループからの学習要望に応じる相談業務を実施します。

広報宣伝・友の会部門では、情報誌（MARCL+）と広報紙（Mitaka Sports and Culture News）を財団全体の事業を発信する主要な媒体と位置付け、広報紙の市内全戸配付と近隣市区への新聞折り込みをすることにより情報発信の充実を図るとともに、ホームページやツイッター、プレスリリースなどを利用した広報活動を行います。また、友の会会員への特典では、公演チケットに関するサービスに加え、引き続きスポーツ教室体験チケットの提供を実施します。

施設管理事業では、利用者の視点に立った丁寧な対応を心掛け、いつでも安心して施設をご利用いただけるよう、快適で安全な施設の管理運営に努めます。また、令和4年度には、太宰の短編「饗応夫人」でモデルとなった洋画家・桜井浜江のアトリエ跡地に新たにオープンする「三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリー（仮称）」の指定管理者となり、施設貸出及び展示事業を行う予定です。

スポーツ部門

指定管理事業（4事業）

1 障がい者スポーツ教室事業

(1) 障がい児サッカー教室

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを生かす取組として、スポーツ未経験者やスポーツをしてみたいけれど不安を抱いている支援が必要な未就学児と教育支援学級に通う小学生を対象に、スポーツのきっかけづくりとなる初心者向けの「障がい児サッカー教室」を開催します。年間2回（春季・秋季）



障がい児サッカー教室

(2) 障がい者ダンス体験教室

年齢や性別、障がいの有無に関わらず、誰でも身体を動かす楽しさを体験することができる「障がい者ダンス体験教室」を開催します。年間1回

2 種目別個人開放事業

SUBARU総合スポーツセンターの利用の促進を図るとともに、少人数でもスポーツを楽しむことができるよう、月曜日から土曜日までの間で、個人を対象とする体育施設の「種目別個人開放事業」を実施します。種目は、次のとおりです。

- | | |
|------------|--------|
| ① 卓球 | 週1日～2日 |
| ② バドミントン | 週1日～2日 |
| ③ ヨガ、ストレッチ | 週1日～2日 |
| ④ バスケットボール | 週1日～2日 |

3 スポーツボランティア支援事業

(1) 熱中症対応講習会

熱中症に関する知識を深めることにより、スポーツ大会などのイベント開催時の熱中症の予防策、発症した方に対する適切な対処法を学ぶ「熱中症対応講習会」を開催します。年間2回

(2) 普通救急救命講習会

救急救命に関する知識を深めることにより、スポーツ大会などのイベント開催時に事故等が発生したときに、救急隊員が到着するまでの間にとるべき適切な対応を学ぶ「普通救急救命講習会」を開催します。年間2回

(3) 障がい者対応スキル講習会

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを生かす取組として、障がいに対する知識を深めることにより、スポーツ大会などのイベント開催時に障がいのある方に、楽しく、安全で安心してイベントに参加していただくために必要な対応スキルを学ぶ「障がい者対応スキル講習会」を開催します。 年間2回

4 弓道・アーチェリー講習会事業

(1) 弓道初心者・初級者講習会及び技量認定会

弓道未経験者や一定の技量を持つ初心者、次のレベルの初級者を対象として講習会を開催します。また、技量認定会において個人・団体利用時に必要となる技量の認定と施設使用のためのオリエンテーションを実施します。 年間36回（月3回）

(2) アーチェリー初心者・初級者講習会及び技量認定会

アーチェリー未経験者や一定の技量を持つ初心者、次のレベルの初級者を対象として講習会を開催します。また、技量認定会において個人・団体利用時に必要となる技量の認定と施設使用のためのオリエンテーションを実施します。 年間48回（月4回）

自主事業（5事業）

1 健康・体力相談事業

市民の健康の保持と健康増進、介護予防等のため、トレーニング室で「健康・体力相談事業」を実施します。健康・体力づくりを支援する専門的な知識・経験を持ったスタッフにより、より使いやすく一人ひとりに合った運動プログラムを提供します。さらに、スポーツを日常生活に取り入れた継続的な健康づくりを支援し、市民の健康増進を図ります。また、スポーツと健康の相関関係等について、研究を進めます。 金曜日を除く毎日（予約制）

2 スポーツ教室事業

ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツ教室を開催するとともに、それぞれの体力やスキル・レベルの違いに対応したプログラムや介護予防等を目的としたプログラムを実施します。また、子育て世代をターゲットに、お子様がキッズ教室を受講中に保護者の方が同時刻にワンコイン（500円）で受講することができるような教室を設定します。例年参加者の少ない中学生や高校生も含め、様々な世代の方がスポーツをする機会や健康づくりの推進につながる教室を開催します。また、新たに、各スポーツ教室の開始時に、可能な範囲で「三鷹体操」又は「みたかダンス」を取り入れるとともに、オンラインプログラムの導入について検討し、実施します。 年間各4クール（1クール3か月）

- | | | |
|--------------|-------------|----------|
| ① 定期教室 | 1クール 100 教室 | 計 400 教室 |
| ② ワンコイン教室 | 1クール 6 教室 | 計 24 教室 |
| ③ パーソナルスイム教室 | 1クール 1 教室 | 計 4 教室 |

3 地域貢献事業

- (1) 親子バスケットボール教室（協力：日本無線株式会社）
親子で参加する教室を通して、親子のふれあいや参加者同士の交流の場となるよう「親子バスケットボール教室」を開催します。 年間1回
- (2) 忍者学校（協力：ミズノスポーツサービス株式会社）
運動が苦手な子どもが体を動かすことの楽しさを感じ、遊びながら「走る、跳ぶ、投げる」など運動発達に必要な基本動作を身に付けることを目的に「忍者教室」を開催します。 年間1回
- (3) ヘキサスロン（協力：ミズノスポーツサービス株式会社）
「走る、跳ぶ、投げる、リズムに合わせて動く」など、子どもの運動発達に必要な基本動作を身に付けられるよう開発された運動遊びプログラム「ヘキサスロン」を実施し、技能だけでなく、認知機能や判断力、コミュニケーション能力の向上を目指します。
年間1回

4 三鷹市体育協会等との連携事業

- (1) ちびっこ水遊び教室
三鷹市体育協会加盟団体の三鷹市水泳連盟と連携し、就学前の子どもの水慣れと親子のコミュニケーションを目的に「ちびっこ水遊び教室」を開催します。 年間1回
- (2) その他のスポーツ教室
三鷹市体育協会、地域スポーツクラブ等が主催するスポーツ教室の開催に向けて検討し、実施します。

5 三鷹市との共催事業（スポーツイベント事業）

- (1) みたかスポーツフェスティバル
「みたかスポーツフェスティバル」を三鷹市と共催することにより、著名人による親子体操教室、ボッチャ体験会、小学生対象のスポーツ能力測定会等を開催し、スポーツに親しむ機会の提供やSUBARU総合スポーツセンターの利用の促進を図ります。
年間1回

(2) 三鷹市民駅伝大会

「三鷹市民駅伝大会」を三鷹市と共催することにより、市民スポーツの推進と交通安全、防犯、青少年の健全育成などの啓発を図り、明るく健康的な市民生活と活力に満ちたまちづくりに寄与します。また、関連講座として「ランニングのためのコンディショニング講座」を開催します。 年間1回・1講座

(3) ボッチャみたかカップ

「ボッチャみたかカップ」を三鷹市と共催することにより、パラリンピックの正式種目でもあった「ボッチャ」を、幼児から大人まで、障がいのある方も含めて幅広い層で楽しむことで、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを生かす取組とします。 年間1回

受託事業（1事業）

1 三鷹市総合保健センターとの連携事業

(1) 体成分測定と簡単運動教室（特定健診受診促進事業）

特定健診を断続的に受診している方を対象として、体成分測定による詳しい診査結果の説明を行い、生活習慣病予防・改善を目指した簡単運動教室を開催します。 年間1回

(2) 特定健診フォローアップ教室

特定健診を受診した方のうち、診査結果が一定の値を超えた方を対象として、3か月コース（月1回）の運動教室を実施します。1か月目と3か月目に体成分測定を行い、運動効果を実感することにより、生活習慣病予防・改善のための運動習慣を身に付けることを目的としたフォローアップ教室を開催します。 年間1回

スポーツ事業合計 10事業

スポーツ部門収支一覧

区分	収入 (千円)	支出 (千円)	収支 (千円)
令和4年度予算	74,192	66,820	7,372
令和3年度予算	67,224	60,794	6,430
比較	6,968	6,026	942

音楽部門

鑑賞事業（自主事業）（11 事業）

1 トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア



沼尻竜典



トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア ©YUSUKE TAKAMURA

芸術文化センター風のホールを活動拠点とする室内オーケストラ、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニアの定期演奏会を2公演開催します。同楽団の音楽監督は、びわ湖ホール芸術監督で、2022年4月からは神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督も務める三鷹市出身の三鷹市名誉市民 沼尻竜典です。各公演とも公開リハーサルを行うほか、沼尻氏による市内小学校への訪問授業を実施します。年間2公演（第85回定期演奏会・第86回定期演奏会）・3講座

2 B'Rock オーケストラ

ベルギー第3の都市ヘントに2005年に創設されたオリジナル楽器（古楽器）のオーケストラ。大胆で革新的なプログラムで知られ、古楽と現代の音楽の奏法のレパートリーを演奏し、新作初演も行い、劇場やビジュアル・アート、ビデオ作品と古楽演奏のコラボレーションにも取り組んでいます。今回は、世界の現代音楽界を牽引し、数々の映画やドラマの音楽でも知られる作曲家とのコラボレーションを予定。ソリストにはフラウト・トラヴェルソ奏者の柴田俊幸、ソプラノ歌手のイム・ソンヘが出演します。関連公演として未就学児から古楽初心者の大人まで楽しめる「はじめての古楽器〜こどもコンサート」（柴田と雅楽芸人カニササレアヤコ（笙）ほかのメンバーによる公演）を行います。2公演

3 LEO 箏リサイタル



© 日本コロムビア

1998年生まれのLEO(今野玲央)は、史上最年少(16歳)で邦楽界の登竜門・くまもと全国邦楽コンクール最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞。2017年19歳でデビューし、2019年出光音楽賞受賞。MBS「情熱大陸」、テレビ朝日「題名のない音楽会」「徹子の部屋」などメディアにも頻繁に取り上げられています。伝統を受け継ぎながら、バッハやケージ、ライヒ、坂本龍一の作品を取り上げ、藤倉大、高橋悠治、坂東祐大ら日本を代表する作曲家への委嘱を行うなど、箏の新たな魅力を追求する若き実力者として注目と期待が寄せられています。 1公演

4 川口成彦 フォルテピアノ・リサイタル

2018年ワルシャワで行われた第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位受賞以後、国内外で精力的に演奏活動を展開する川口成彦。風のホール2度目のリサイタルは、シューベルトにちなんだプログラムを、J.G.グレーバーが1820年に製造したウィーン式アクションのピアノ(オリジナル)で演奏します。公演に先立ち、現代のピアノとの聴き比べを行いながら、フォルテピアノの構造や音色、機能の違いを解説する関連講座も実施します。フォルテピアノ調律師とゲスト奏者が講師を務めます。 1公演・1講座

5 金川真弓 ヴァイオリン・リサイタル

2019年チャイコフスキー国際コンクール第4位、2018年ロン＝ティボー国際音楽コンクール第2位及び最優秀協奏曲賞受賞など、今、注目のヴァイオリニストの金川真弓はドイツ生まれ。4歳から日本でヴァイオリンを始め、現在はベルリンを拠点に演奏活動を展開させている国際派のヴァイオリニストです。 1公演



© Francisca Blaauboer

6 吉井瑞穂 オーボエ・リサイタル

吉井瑞穂は東京藝術大学に入学後、ドイツ・カールスルーエ国立音楽大学首席卒業。日本音楽コンクール優勝ほか、イギリス・バルビローリ国際コンクール、日本管打楽器コンクールで入賞。巨匠クラウディオ・アバドに認められ、2000年からマーラー室内管弦楽団首席奏者として欧州を中心に演奏活動を行っています。拠点を出身地の鎌倉に移してからも、国内外で演奏しており、その甘美な音色と豊かな音楽性で国境を越えて聴衆を魅了しています。 1公演

7 小曾根真&塩谷 哲 DUO

小曾根真と塩谷哲、人気・実力ともに現在の日本ジャズ・シーンを代表する二人による夢の競演。小曾根は故 C. コリア、G. バートン、B. マルサリス、P. デリベラなど世界的なプレイヤーとの共演や、自身が率いるトリオやビッグ・バンドの活動など、ジャズの最前線で活躍を続けています。一方の塩谷は三鷹市出身で、オルケスタ・デ・ラ・ルスのパアニストとしての活動を経てソロ活動を開始。自身のグループをはじめ、ヴォーカリストの佐藤竹善や津軽三味線の上妻宏光との共演のほか、様々なアーティストと多彩なコラボレーションを行っています。 1公演

8 マリオ・ブルネロ 無伴奏チェロ・リサイタル

世界的チェリスト、マリオ・ブルネロによる、風のホール3度目のリサイタル。近年、彼はチェロと、通常のカチェロよりもひと回り小さいサイズの“ピッコロ・チェロ”を用いて、バッハの『無伴奏チェロ組曲』『無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ』の全曲演奏を欧州を中心に行っており、注目を集めています。今回は国内有数のコンサートホールの一つ、紀尾井ホールと共に開催することにより、東京での全曲演奏プロジェクトの実現を目指します。 1公演

9 ジャン＝ギアン・ケラス 無伴奏チェロ・リサイタル～DANCE～

バロックから現代まで幅広いレパートリーを持つ、実力と人気を兼ね備えたチェリスト、ケラスのリサイタルです。風のホールへの登場は4度目となり、今回は「舞曲」をテーマにバッハやコダーイらの無伴奏作品から選曲したプログラムを予定しています。 1公演

10 レ・ヴァン・フランセ

世界のトップ・オーケストラの首席奏者やソリストとして活躍する6人のスーパースターたちで構成されたレ・ヴァン・フランセ、8度目の公演です。公開リハーサルも予定しています。 1公演・1講座

11 若手アーティストの公演

日本を活動の拠点とし、国内外で活躍する20代から40代のアーティストの公演を開催します。聴衆の中心となる年齢層は、アーティストとほぼ同じ年代を想定します。ジャンルは特に限定せず、風のホールのイメージに合うアーティスト、小さなアンサンブル又はソロリサイタル等を視野に入れており、出演者は現在検討中です。 1公演

教育普及事業（自主事業）（3事業）

1 みたかジュニア・オーケストラ



みたかジュニア・オーケストラは、10月及び3月に風のホールで恒例の演奏会を開催します。コミュニティ・センターや高齢者福祉施設での訪問演奏会のほか、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア定期演奏会でのプレ・コンサートも開催します。また、山本有三記念館アフタヌーン・ミニコンサートにも出演し、市民の皆様に活動の成果を還元する機会を増やします。

8月には、全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会主催の「ジュニアオーケストラ・フェスティバル2022 in NIIGATA」に出演します。年間8公演

2 ファミリーコンサート「赤ちゃんからのクラシック」

乳幼児のいるご家族を対象にしたコンサート。クラシックの名曲と三鷹ゆかりの作曲家による童謡やジブリ映画の曲、オペラやミュージカルの人気作品を織り交ぜた選曲を行います。1公演

3 風のホールでピアノを弾こう

芸術文化センター風のホールを舞台に、小学生から高齢者までの幅広い年齢層の方々を対象に、公演で使用している財団所有の2種類のピアノを弾くことができる機会を提供します。2講座

教育普及事業（受託事業）（1事業）

1 小学校訪問演奏事業

三鷹市教育委員会からの受託事業として、小学校訪問演奏を実施します。この事業は、平成17年度から実施しており、学校の音楽室等で演奏家とコミュニケーションを取りながら、小学生に生演奏によるクラシック音楽の鑑賞と楽器に親しむ機会を提供します。

30講座（各校2講座・15小学校）

音楽事業合計 15事業

音楽部門収支一覧

区分	収入 (千円)	支出 (千円)	収支 (千円)
令和4年度予算	31,156	60,178	△ 29,022
令和3年度予算	29,297	55,529	△ 26,232
比較	1,859	4,649	△ 2,790

演劇部門

朗読事業（自主事業）（1事業）

1 「太宰を聴く」～太宰治朗読会～第21回

今もなお人気の衰えることのない太宰治作品の朗読会を、桜桃忌の時季に開催します。過去の公演はいずれも完売となっており、大変人気の高い事業です。出演者は、現在検討中です。 1公演

演劇事業（自主事業）（4事業）

1 劇団「CHAiroiPLIN」（チャイロイプリン）『あたま山』

小説・童話などをモチーフに、深い洞察力によって、古今東西の名作をダンスパフォーマンスに仕上げていく劇団「CHAiroiPLIN」。その躍動感あふれるステージは、観客の五感と想像力を、大いに刺激していきます。今回は、落語の「あたま山」をモチーフに舞台を展開します。気鋭の落語家、桂宮治とのプレ・コラボ公演も開催し、落語「あたま山」を語っていただきます。 12公演

2 劇団「小松台東」（こまつだいひがし）『シャンドレ』

家族の何気ない会話の中から忘れかけていた人間関係の温かさを思い出させてくれる、そんな大人のセリフを書かせたら若手随一の松本哲也が率いる劇団「小松台東」。軽妙な会話に笑っていたはずなのに、いつの間にか泣いてしまっているような、良質な会話劇をお届けします。 12公演

3 MITAKA “Next” Selection 23rd（若手劇団フェスティバル）

大人の鑑賞にも充分堪える舞台を作り、なおかつ次の世代を担っていくであろう可能性に満ちた若手劇団を集めて開催する演劇フェスティバルの23回目です。出演した多くの劇団が、その後飛躍を遂げ、演劇界の登竜門として注目を集めています。演劇を楽しむ多くの若い市民の刺激になり、演劇の裾野が広がることを期待します。 24公演

4 劇団「第27班」『蛭』

過去、MITAKA “Next” Selectionにも出演し、その筆力と演出力に大きな期待を集める「第27班」の公演です。今回は、過去に上演され、将棋の世界を舞台に人間関係を描き切り、大変高い評価を得た『蛭』という作品を上演する予定です。 12公演

映画事業（自主事業）（2事業）

1 CINEMA SPECIAL「惜別、日本の名優」

令和3年度事業「惜別、日本の名優」の最終回、高倉健主演『遙かなる山の呼び声』を上映します。 2公演（1日）

2 CINEMA SPECIAL「洋画世界紀行（仮称）」

なかなか旅行にも出かけづらい昨今、世界の名作映画を集め、世界を旅していただく上映会を開催します。誰もがよく知る名作から滅多に上映されない稀有な作品まで、数々の名画を星のホールの大きなスクリーンでお楽しみいただきます。 10公演（5日）

落語・講談事業（自主事業）（24事業）

1 落語・講談（22事業）

人気と実力を兼ね備えた魅力あふれる出演者をお迎えしての落語会を数多く開催します。

<出演予定>柳家さん喬、柳家権太楼、春風亭小朝、柳亭市馬、立川志の輔、春風亭昇太、立川志らく、立川談春、柳家花緑、林家たい平、柳家喬太郎、瀧川鯉昇、古今亭菊之丞、桃月庵白酒、三遊亭兼好、春風亭一之輔、神田伯山、桂宮治 ほか 37公演

2 こども寄席「ぼくも、わたしも、寄席で大笑い その22」

こども寄席は、小学生に生の演芸の魅力を伝える「小学生以上の回」と好評を博している「未就学児の回」の2公演を開催します。また、毎年大評判の「未就学児の回のお客様係を小学校4年生から6年生に担ってもらおう体験講座」を引き続き実施します。

2公演・1講座



春風亭一之輔（出演予定）



過去のお客様係体験講座風景

3 寄席井心亭（二百九十七夜～三百夜）

新型コロナウイルスの影響で開催が延期になっている、柳家花緑、立川志らく、林家たい平、柳家喬太郎の4人の人気落語家をメインに据えての和風施設での寄席「寄席井心亭」を開催します。 4公演

古典事業（自主事業）（1事業）

1 野村家・茂山家「東西狂言の会」

毎回完売の好評を博している、野村万作・野村萬斎親子と関西狂言の茂山家との競演で贈る「東西狂言の会」を開催します。 1公演



演劇事業合計 32事業

演劇部門収支一覧

区分	収入 (千円)	支出 (千円)	収支 (千円)
令和4年度予算	48,309	73,947	△ 25,638
令和3年度予算	53,356	77,495	△ 24,139
比較	△ 5,047	△ 3,548	△ 1,499

美術部門

展示事業（自主事業）（2事業）

1 三鷹市美術ギャラリー収蔵作品展Ⅲ（仮称）

令和2年度から5年間5回にわたって開催する収蔵作品展の第3回として、26作家約160点を展示します。

展示の際には、作家名や作品名などのキャプションは掲示せず、作品に関する情報はペーパーに記述し、望むのであれば、そのペーパーを見ながら作品に対峙することができるようにするなど、見る者が作者となつて、今一度作品を再創造する場としての美術館のありようも提示します。

あわせて、関連ワークショップを開催します。

1 展示（前期・後期）・1 講座

出品作家（予定）：大浦信行、岡崎乾二郎、岡田紅陽、小作青史、小野忠重、オノサト・トシノブ、郭徳俊、加納光於、河口龍夫、絹谷幸二、金斗鉉、草間彌生、黒崎彰、黒崎俊雄、小島廣志（ロビー）、駒井哲郎、坂口登、桜井浜江、桜井寛、清水晃、ジョン・ケージ、菅井汲、スズキユージ、清宮質文、高島野十郎、高松明日香

2 合田佐和子展（仮称）

1940年高知に生まれた合田佐和子は、様々なガラクタであふれた戦後の焼け跡を遊び場にして育ちました。1959年に武蔵野美術学校（現在の武蔵野美術大学）に入学。廃物を利用したオブジェの制作を開始し、1965年の初個展で可憐さと不気味さが同居するガラクタ・オブジェを発表、1970年代からはNYの道端で拾った銀板写真に触発され、古いブロマイド写真を見ながら描く油彩画の制作に着手。「タナトス・グレイ」と称された灰色を基調に、耽美かつ退廃的な薫りが漂う一連の絵画で広く注目を集めます。

合田の活動のなかで特に注目されてきたのが、69年からはじまる唐十郎と寺山修司という演劇界の両雄との協働です。独創性に貫かれつつも劇中の世界観が具現化された合田の舞台装置やポスター原画は、1970年代のアングラ演劇シーンにおいて異彩を放ちました。85年以降はおおよそ1年にわたるエジプト移住を経て光と色彩に満ちた作風へと移行します。断続的な体調不良に悩まされながらも、2016年に没するまで精力的に制作を続けました。

オブジェ、絵画、イラストレーション、舞台芸術、写真、版画、映像…。合田の制作活動はサブカルチャーとも高い親和性を持つ一方で、あくまで自らの内から湧き上がる衝動や欲求に基づいていました。時代を象徴する多くの芸術家たちと交流をもち、特定の美術動向への安易なカテゴライズを拒んだ合田佐和子の存在は、男性優位であった戦後日本の現代美術のなかで、極めて特異な作家であったといえます。人間の心の奥底に秘めら

れた欲望をすくい取り、形を与え続けた合田の〈まなざし〉は生涯を通して一貫しており、近年は晩年の作風にスポットをあてた画集が刊行され、若い世代からの関心を集めています。

2003年に開催された渋谷区立松涛美術館での個展以降、ほぼ20年ぶりの大規模回顧展となる本展では、最晩期を加えた仕事の全貌を改めて通覧・検証し、合田佐和子というひとりの鮮烈な個性を浮かび上がらせることを試みます。遺族の協力のもと自宅に残された愛用の遺品類や制作資料の展示により、人物像や交友関係を多面的に探ることで、一人の女性作家を軸にした戦後現代美術を紹介します。

あわせて、関連講演会及び関連ワークショップを開催します。

1 展示・2 講座

出品予定

オブジェ、絵画、写真、イラストレーションほか 約200点

教育普及事業（自主事業）（1事業）

1 三鷹市美術ギャラリー収蔵作品展Ⅲ（仮称）関連ワークショップ（再掲）

2 合田佐和子展（仮称）関連講演会・関連ワークショップ（再掲）

3 美術ワークショップ

「ワークショップ こどもアートクラブ」を開催します。 1 講座

美術事業合計 3事業

美術部門収支一覧

区分	収入 (千円)	支出 (千円)	収支 (千円)
令和4年度予算	2,605	33,261	△ 30,656
令和3年度予算	2,205	31,228	△ 29,023
比較	400	2,033	△ 1,633

文芸部門

山本有三顕彰事業（指定管理事業）（10事業）

<展示事業>

1 企画展① 山本有三 — 作家として、教育者として —（仮称）

令和4年度は、山本有三が明治大学文芸科の科長就任の90周年に当たります。「女の一生」を連載するかたわら、文芸科の初代科長を務め、その後も教科書の編纂に携わるなど教育に関わった有三の「作家」と「教育者」、二つの活動について取り上げます。

1 展示・1 講座

2 企画展② 有三文学に描かれた兄弟—対立する兄弟^{あにおとうと}—（仮称）

山本有三は、作品の多くで対立する「兄弟」を主題としており、その理由を、自分にはない兄弟を潜在的に求めているのではないかと述べています。本展では「ウミヒコ・ヤマヒコ」や「生きとし生けるもの」などの作品とともに、有三文学における「兄弟」について探ります。 1 展示

3 ガイドボランティア事業

山本有三の生涯と作品、文化財である建物について来館者の理解を深めるため、登録ボランティアによるガイドを実施します。また、ガイドの資質向上のための見学会と研修会を実施します。 2 講座

<教育普及事業>

1 春の朗読コンサート

大正末期に建てられた洋館の風情を生かし、山本有三作品の朗読と作品の雰囲気にあわせた楽器とのコラボレーションが楽しめる朗読コンサートを2夜連続で開催します。 2 公演



2 秋の朗読会

山本有三記念館開館記念日であり、山本有三が制定に携わった「文化の日」でもある11月3日に、山本有三の暮らした洋館で、その作品の朗読会を開催します。 1 公演

3 夏休み子どもワークショップ 「文選」おしごと体験～「活字」を組み合わせ「ドット文字」をつくってみよう～（仮称）

夏休み中の小学生を対象に、山本有三作品「路傍の石」の主人公吾一も経験した文選の作業を体験し、作品を身近に感じてもらえるワークショップを実施します。 1 講座

4 子ども向け解説「山本有三ってどんなひと？— 洋館を探検しながら、山本有三を知ろう —（仮称）」

夏休み中の小学生を対象に、三鷹市ゆかりの作家・山本有三や山本有三記念館について理解を深めることのできる解説を記念館職員が実施します。解説にあたっては、子ども向けのわかりやすい内容の解説シートを作成し、配布します。 2 講座

5 山本有三記念館スケッチコンテスト

山本有三記念館の建物としての魅力と「文化の薫り高い三鷹」を広く発信するため、記念館や有三記念公園を描いたスケッチ作品を公募し、コンテストを開催します。

1 展示

6 おはなし会

「子どもたちに本を」との思いからミタカ少国民文庫を開設するなど、子どもたちの読書環境の充実に尽力した山本有三の意志を継承し、展示室Bで未就学児を対象としたおはなし会を開催します。また、スタンプカードを新たに導入することで、リピーターの獲得を目指します。 10 講座

7 アフタヌーン・ミニコンサート

山本有三記念館の施設の周知と新規来館者の増加を目指し、広く市民の皆様に来ていただくきっかけづくりとして、週末の午後の時間帯に管楽器等を演奏するミニコンサートを開催します。 3 公演

太宰治顕彰事業（受託事業）（6事業）

<展示事業>

1 企画展示① 太宰治と生きる—津島美知子の決意と生涯（太宰治展示室）

太宰治の妻、津島美知子の生誕 110 年を記念して、太宰治との三鷹での暮らしぶりを、家族がモチーフとなった作品をメインに紹介します。さらに、太宰文学を後世に残すために終生尽力した夫人の生涯も紹介します。 1 展示

2 企画展示② 〈下連雀一一三〉太宰宅への訪問者（仮称）（太宰治展示室）

太宰治が三鷹に転居してから、自宅には数多くの文化人が訪れ、六畳間の書斎では文芸談義が繰り広げられたと言います。師事した井伏鱒二をはじめ、太宰治に師事した弟子、友人たちとの交流を通じて、太宰治の人物像に迫ります。 1 展示

3 太宰治文学サロンのブックカフェ機能追加（太宰治文学サロン）

太宰治文学サロンに「ブックカフェ」の機能を持たせ、来館者が椅子に座ってコーヒー等を飲みながら本を読むことができるスペースを提供するとともに、「山内祥史文庫」を中心に太宰治の初版本等の資料を開架します。また、ボランティアによる太宰治ゆかりの地の案内などによって、引き続き、来館者とボランティアの情報交換と交流の場とします。

1 展示

<教育普及事業>

1 太宰治作品朗読会（太宰治文学サロン）

朗読家・俳優・アナウンサーなど多彩な出演者を招いて、月例の太宰治作品朗読会を開催します。 年間 12 公演

2 ガイドボランティア事業（太宰治文学サロン）

みたか観光ガイド協会と協働で、来館者（個人・団体）に対する太宰治文学サロンの展示及び駅周辺をはじめとする近隣の太宰ゆかりの地への案内を実施します。また、太宰治展示室（美術ギャラリー）への誘導を実施し、2館の回遊性を高めます。



3 みたか太宰治作品倶楽部（太宰治展示室）

指定の太宰作品を事前に読んだ参加者が集まって作品の感想を自由に述べ合い、太宰文学の新たな魅力を発掘する読書会を開催します。書斎で文芸談義を交わした太宰と弟子の気持ちを疑似体験しながら味わえる、三鷹ならではの企画です。 1 講座

みたか井心亭文化事業（自主事業）（2事業）

<教育普及事業>

1 茶道体験教室

日本の伝統的文化を体験するとともに、純和風数寄屋づくりの「みたか井心亭」に親しんでいただくため、三鷹市茶道連盟と連携して「茶道体験教室」を開催します。

年間 6 講座

2 華道体験教室

日本の伝統的文化を体験するとともに、純和風数寄屋づくりの「みたか井心亭」に親しんでいただくため、三鷹市華道連盟と連携して「華道体験教室」を開催します。

年間2講座

文芸事業合計 18 事業

文芸部門収支一覧

区分	収入 (千円)	支出 (千円)	収支 (千円)
令和4年度予算	17,663	18,006	△ 343
令和3年度予算	17,630	17,848	△ 218
比較	33	158	△ 125

その他芸術文化部門

教育普及事業（自主事業）（2事業）

1 三鷹市芸術文化センター全部見てくださいツアー

お客様に、より芸術文化センターに親しんでいただくための見学会です。星のホールのセリに乗ってみたり、風のホールのピアノの音を聞き比べてみたり、音楽練習室や美術創作室を見学するなど、芸術文化センターを全て見ていただきます。

2講座（午前・午後）

2 三鷹市公会堂探検ツアー

夏休みの平日に開催する、公会堂の光のホールや舞台演出の仕事に親しんでいただくためのバックステージツアーです。普段見ることのない音響や照明の部屋などの舞台裏をご案内します。また、参加者が照明卓を操作し、好きなBGMに合わせて、自分のイメージした色の照明を作ってください体験コーナーもあります。 2講座（午前・午後）



桜井浜江顕彰事業（指定管理事業）（1事業）

1 桜井浜江企画展事業

桜井浜江記念市民ギャラリー（仮称）の由来を看板やパネル等により展示するとともに、2週間程度の企画展を年2回開催します。 2展示

その他芸術文化事業合計 3事業

その他芸術文化部門収支一覧

区分	収入 (千円)	支出 (千円)	収支 (千円)
令和4年度予算	1,909	2,032	△ 123
令和3年度予算	0	238	△ 238
比較	1,909	1,794	115

生涯学習部門

指定管理事業（2事業）

1 市民大学事業

(1) 総合コース

「学習の主体は市民にある」という理念の下、市民自らが主体となって地域課題や生活に根差した学習課題などを話し合い、講座を企画・運営します。三鷹に住む学習生同士で議論し合うゼミナール形式による年間継続学習を通して仲間をつくり、その学びの成果を地域や生活の場に生かし広げていくことを目指しています。

年間5講座（各30回）

(2) 一般教養コース

講義を中心に、基礎的な知識・教養を習得し、自分の生活課題と社会的問題を結び付ける視点を身に付け、地域社会における自分の生き方を探ります。

① むらさき学苑（60歳以上対象） 年間1講座（全30回）

② 子育て講座 年間2講座（各10回）

(3) 市民講師養成コース

市民が生涯を通じて学んだことを地域に還元する機会を提供することで、生涯学習の推進役として地域にかかわるボランティアを養成します。

① 市民講師養成講座 年間1講座（全6回）

② 市民講師デビュー講座 年間3講座（各1回）

2 生涯学習相談事業

生涯学習相談員により、市民や学習グループが持つ様々な要望や悩みに対し相談業務を行います。 毎週月曜日～金曜日

自主事業（5事業）

1 生涯学習講座事業

市民自らがそのライフスタイルやライフステージに沿った学びを通じて、豊かな心を育み、また学んだことを地域に返し、生かしていくという「学びと活動の循環」や、人とのつながりを創出すべく、地域学や趣味、教養などの講座を開催します。

① みたか学 3講座

② 芸術文化講座（音楽関連、美術関連、文芸関連） 3講座

③ 人財養成講座 2講座

④ 趣味・教養講座 11講座

2 小・中学生向け講座事業

小・中学生が、好奇心や興味を高める体験型の講座を開催します。

- | | |
|------------------|------|
| ① 陶芸講座 | 1 講座 |
| ② 三鷹市芸術文化協会連携講座 | 2 講座 |
| ③ ネーミングライツ企業連携講座 | 2 講座 |
| ④ 文化・教養講座 | 2 講座 |



ラジオ工作教室（令和3年度開催）

3 生涯学習センターフェスティバル開催事業

「生涯学習センターフェスティバル」を開催することにより、さまざまな生涯学習活動の紹介、発表、ワークショップ（体験）などを通して、来場者に生涯学習の楽しさを伝え、学習への興味・関心をもってもらえる機会を提供します。また、生涯学習グループの活動内容や生涯学習センター主催事業を、広く情報提供することにより、グループの活性化や生涯学習センターの周知、利用促進を図ります。 年間1回

4 夏休み自主学習スペース開放事業

学校の夏休み期間に合わせ、生涯学習センターの学習室を学生等の自主学習スペースとして開放し、学習の場及び居場所の確保を図るとともに、多世代にわたる生涯学習センターの利用を推進します。

5 学習スペース開放事業

学習室の個人利用の要望を踏まえ、学習室5、学習室6及び学習室7について、日曜日の午前9時から午後5時までの時間帯のうち団体予約の入っていない区分を個人利用できる学習スペースとして開放し、個人の生涯学習を支援します。

※夏休み自主学習スペース開放事業の実施期間中は、実施しません。

受託事業（1事業）

1 Zoomオンライン講座事業

新型コロナウイルスの感染拡大により、オンラインを活用した講座や会議が増えています。更なる市民活動の支援を目的として、Zoom（オンライン会議ツール）の使い方講習会を開催します。

- ① Zoomオンライン講座（初級編） 2講座
- ② Zoomオンライン講座（中級編） 1講座

生涯学習事業合計 8事業

生涯学習部門収支一覧

区分	収入 (千円)	支出 (千円)	収支 (千円)
令和4年度予算	9,260	12,528	△ 3,268
令和3年度予算	9,260	12,619	△ 3,359
比較	0	△ 91	91

広報宣伝・友の会部門

広報宣伝事業

- 1 情報誌（MARCL+）の発行（7,000部 年6回発行）
スポーツ・芸術文化・生涯学習の事業を掲載した冊子の発行。出演者のインタビュー等も取り入れ、魅力的な誌面を提供します。
- 2 広報紙（Mitaka Sports and Culture News）の発行（160,000部 年6回発行）
市内全戸配付・近隣市区新聞折り込みにより、財団の事業を広報します。
- 3 小田急バス（武蔵境及び吉祥寺営業所管内全バス）車内中吊りポスターの掲出
- 4 財団ホームページやツイッター、メールマガジンを活用した事業のPR
- 5 出演者インタビュー・担当者による事業紹介動画を財団ホームページ上で配信
- 6 三鷹市報への事業掲載、プレスリリースほか
- 7 三鷹駅周辺等の協力店（チケットパートナーショップ）との連携による主催公演チケット購入者へのサービス、情報誌・ポスター・チラシの掲出

友の会運営事業

- 1 会員の新規募集及び管理運営（個人会員約3,600人、グループ会員5団体）

物品販売事業

- 1 財団オリジナル商品の販売及び山本有三・太宰治に関連した商品の受託販売
- 2 山本有三グッズの増刷及び太宰治グッズ（ブックカバー・Tシャツ）の新規作成

広報宣伝・友の会部門収支一覧

区分	収入 (千円)	支出 (千円)	収支 (千円)
令和4年度予算	9,617	28,508	△ 18,891
令和3年度予算	2,070	26,287	△ 24,217
比較	7,547	2,221	5,326

施設管理事業

指定管理業務

三鷹市芸術文化センター等の文化施設については、令和元年度から令和5年度までの5年間、SUBARU総合スポーツセンター等のスポーツ・生涯学習施設については、令和4年度から令和8年度までの5年間、三鷹市からの指定管理者の指定を受け、効率的・効果的な管理運営を行います。

令和4年度からは、新たに開設される三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリー（仮称）の指定管理者の指定を受け、施設貸出等の管理運営を行います。

（単位：千円）

施設	令和4年度 予算	令和3年度 予算	増△減	期 間
三鷹市芸術文化センター	193,551	190,354	3,197	令和元年度から令和5年度まで（5年間）
三鷹市公会堂	31,263	31,420	△157	
三鷹市美術ギャラリー	53,073	51,196	1,877	
みたか井心亭	12,109	9,782	2,327	
三鷹市山本有三記念館	16,193	10,871	5,322	
三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリー （仮称）	3,156	—	3,156	*1
SUBARU総合スポーツセンター *2	204,695	180,069	24,626	令和4年度から令和8年度まで（5年間）
三鷹市新川テニスコート	9,343	8,767	576	
三鷹市大沢総合グラウンド	39,597	39,466	131	
三鷹市生涯学習センター	17,370	15,289	2,081	
三鷹中央防災公園	16,286	15,799	487	
合 計（11施設）	596,636	553,013	43,623	

*1 指定管理期間は、令和4年度から令和5年度まで（2年間）

*2 SUBARU総合スポーツセンターは、弓道場・アーチェリー場を含む。

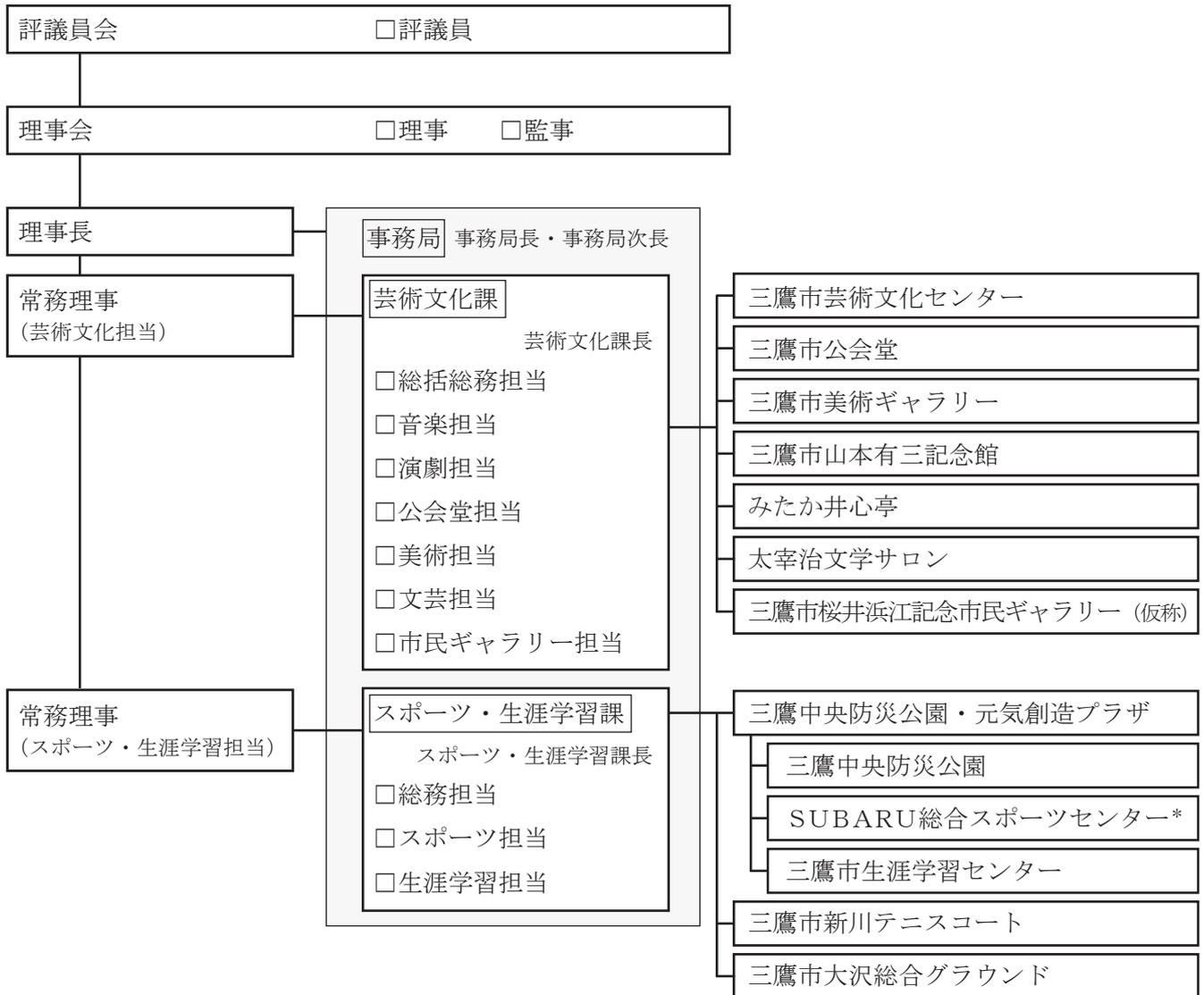
受託業務

引き続き三鷹市から太宰治文学サロンの管理運営業務を受託するとともに、元気創造プラザの三鷹市直営施設部分及び共有部分の管理業務を受託します。

（単位：千円）

内 容	令和4年度予算	令和3年度予算	増△減
太宰治文学サロン管理運営業務	6,170	4,944	1,226
元気創造プラザ施設管理業務	82,513	70,566	11,947
合 計	88,683	75,510	13,173

公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団組織図



*SUBARU総合スポーツセンターは、
弓道場・アーチェリー場を含む。